



2026年9月14日

報道関係者各位

森下仁丹株式会社

医療関係者 9 割以上が「推奨」または「検討中」と回答！

ビタミン D サプリメント「BabyD」「BabyD200」をリニューアル

～ママ・パパの声に応じて使いやすい新容器へ～

森下仁丹株式会社（本社：大阪市、代表取締役社長 森下雄司、以下「当社」）は小児のビタミン D 不足を補うためのサプリメントとして開発した「BabyD」「BabyD200」を 2026 年 9 月 14 日より使いやすい容器に変更して、リニューアル発売いたします。



お客さまより「最後まで使いきれない」「1 滴ずつ出しにくい」といったお声をいただいております。「より安全に、より手軽に使いたい」というお声に答えられるように、プラスチック容器へリニューアルいたしました。

今後もお客さまからいただく貴重なご意見を製品開発に活かしてまいります。

■乳幼児のビタミン D 不足の現状と当社のこれまでの歩み

ビタミン D は、食べ物から摂るほかに、太陽の光（紫外線）を十分に浴びると体内で合成されるため「太陽のビタミン」といわれています。しかし近年、過度な紫外線対策や食生活の変化などの影響で、日本人女性の全年代で不足しがちであることがわかってきています。母親のビタミン D 不足は胎児や乳幼児にも影響を及ぼし、現在では 0～5 か月の乳児の 52%がビタミン D 欠乏であるという報告もあります。小児科医療の現場でも喫緊の課題となっています。

こうした深刻な背景を受け、2025 年には日本小児科学会（日本小児医療保健協議会栄養委員会）より「乳児期のビタミン D 欠乏の予防に関する提言」が公表されました。この提言の中では、母乳に含まれるビタミン D 含有量が少ないことが指摘されており、生活・食事環境の改善が困難な場合には「乳児用サプリメントの摂取を考慮する」ことが推奨事項の一つとして明記されています。

当社は、この「乳幼児のビタミン D 不足」という社会課題にいち早く着目し、学会の提言に 10 年以上先駆けて、2014 年より、日本で初めて※0 歳児から摂取できる液状サプリメント「BabyD」を開

発・販売してまいりました。

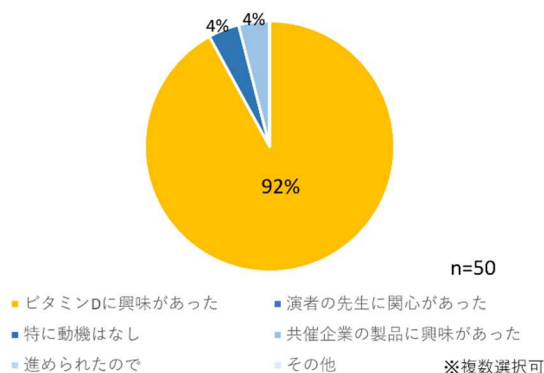
今回のリニューアルは、長年この課題に向き合ってきた当社が、日々育児に奮闘されるご家庭の「もっと手軽に、安全に使いたい」という声に改めてお応えするものです。

※0歳から摂取できるビタミンD単体の液状サプリメント（栄養機能食品）として（2014年8月SVPジャパン調べ）

■医師が回答する「ビタミンD」に関するアンケート

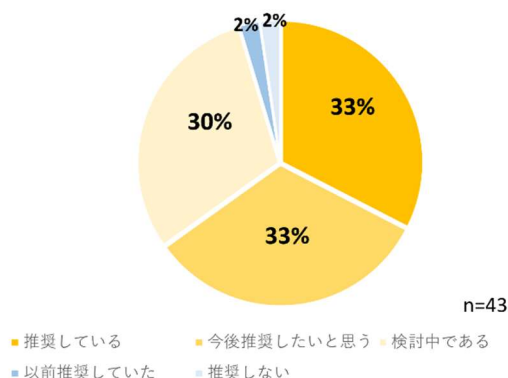
日本外来小児科学会にて実施したランチョンセミナーで医療関係者49名にアンケートを行いました。医療関係者の方々からもビタミンD、BabyDへの関心を多くいただけていることが確認できています。

Q1. 本セミナーにご参加くださいました動機をお教えてください。



ランチョンセミナーに参加された 92%の方がビタミンDへの興味が参加動機であると回答されました。

Q2. 当社の BabyD の使用を患者様へ推奨しますか？



医療関係者の 96%の方が「推奨している」「今後推奨したい」「検討中」と製品にも関心を持っていたことがわかりました。

■調査概要

調査方法：書面調査

集計対象：第35回日本外来小児科学会年次集会ランチョンセミナー参加者（看護師、医師、教員等）

回答数：49名

実施期間：2026年8月22日（ランチョンセミナー開催時）

調査機関：森下仁丹株式会社

■専門家および担当者のコメント

・医療法人社団 Bambini 理事長 時田 章史 先生



2010年代より、乳幼児におけるビタミンDの重要性を伝えるため、森下仁丹様と共に学会セミナー等を通じて啓発活動が続けてまいりました。小児向け製品は厳しい管理が必要な分野ですが、森下仁丹様は「子どもたちのすこやかな成長のために」という思いで地道に開発を続け、現場の医師やご家族の声をもとに約3年をかけて今回の容器リニューアルを実現されました。その真摯なもののづくりの姿勢を厚く信頼しています。

ビタミンDは、すこやかな体づくりと健康維持に欠かせない、現代の日本人に不足しがちな栄養素です。より手軽に、安心して使える新しい容器への変更を機に、赤ちゃんから高齢の方まで、多くの方の日々の適切な栄養補給を支える存在となることを期待しています。今後もさまざまな分野の専門家と協力し、正しい栄養補給の大切さを広く伝えてまいります。

・森下仁丹株式会社 事業推進本部 戦略企画部 森本 朋子



BabyDの従来の容器は、瓶の中の液の重さによってしずくが出る構造であったため、使い始めと終わりで、しずくが出てくるまでの時間が変わったり、使い方にコツが必要でした。私自身も数年前に出産しBabyDを使っていましたが、時間のない子育ての中で、こういったちょっとした不便はストレスになります。

新しい容器は育児をする方にとって使いやすいよう、とことん使いやすさを求めて設計しています。課題であった、1滴ずつ安定してスッと出せることに加え、最後まで使い切れること、また小さい容器が倒れてコロコロ転がっていかないように、転がり防止キャップにしました。

BabyDを使っていただくすべての方の、育児等において少しでも助けになればと願っております。

■リニューアルによる変更点

	旧	新
パッケージ		
容器素材	ガラス	プラスチック ⇒加圧による滴下が可能に
容器仕様	ガラス瓶＋中栓＋キャップ	プラスチックボトル＋転がり防止キャップ (中栓がなくなりました) ⇒倒れても転がらない
滴下方法	自重による滴下	加圧による滴下 ⇒1滴ずつ出しやすい 最後までしっかり使い切れる

■製品概要

製品名	BabyD	BabyD200（医療機関専売品）
原材料名	食用油脂（国内製造）/ビタミン D	食用油脂（国内製造）/ビタミン D
1 日摂取 目安量	1 日あたり 1～2 滴 ※1 滴あたり 2 μ g(80IU)（ビタミン D として）	1 日あたり 1 滴 ※1 滴あたり 5 μ g(200UI)（ビタミン D として）
内容量	3.3g（約 90 滴分）	3.3g（約 90 滴分）
注意事項	※容器からお子さまの口へ直接滴下しないでください。 ※軽く押して 1 滴ずつ出してください。 ※お子さまがお召し上がりになる場合は、必ず大人の方が正しい使い方でお子さまにあげてください。 ※目に入れないでください。 ※開封後は 3 ヶ月を目安にお使いください。 ※本品は、多量摂取により疾病が治癒したり、より健康が増進するものではありません。 1 日の摂取目安量を守ってください。 ※本品は、特定保健用食品と異なり、消費者庁長官による個別審査を受けたものではありません。 ※高カルシウム血症・高マグネシウム血症の方は、本品の摂取を避けてください。	※容器からお子さまの口へ直接滴下しないでください。 ※軽く押して 1 滴ずつ出してください。 ※お子さまがお召し上がりになる場合は、必ず大人の方が正しい使い方でお子さまにあげてください。 ※目に入れないでください。 ※開封後は、3 か月を目安にお使いください。 ※1 日の摂取目安量を守り、過剰摂取しないように気を付けてください。 ※本品の使用により体に異常をきたした場合には使用を中止し、医師または薬剤師に相談していただくか、弊社までお問い合わせください。 ※高カルシウム血症・高マグネシウム血症の方は、本品の摂取を避けてください。
希望小売 価格	2,138 円（税込）	※医療機関へご確認ください。
お召し上がり方	栄養補給のため、生後 1 ヶ月頃より、1 日 1～2 滴を目安にお召し上がりください。 ※容器からお子さまの口へ直接滴下しないでください。	栄養補給のため、生後 0 ヶ月頃より、1 日 1 滴を目安にお召し上がりください。 ※母乳やミルクを飲むことを目安にお使いください。 ※容器からお子さまの口へ直接滴下しないでください。
販売販路	Amazon、楽天、森下仁丹本店オンラインショップ、店頭（西松屋、アカチャンホンポ、ドラッグストア）	かかりつけ医等にご相談いただき、医師の指導のもと、医療機関にてお求めください。
購入先 リンク	https://www.181109.com/shop/g/g55501/	※ご購入については医療機関へご相談ください。

ブランドサイトはこちら <https://babyd.jintan.jp/>